

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		H27-B-2					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ- 火山灰物 炭質土 貝化石 木片	地質名	色調	堆積構造・特徴等
	12.33m		盛土		砂	10YR 5/6 黄褐	12.33~12.75m 礫率70~80%でクワリ礫を多く含む。 礫種はGpと一部Apの礫径は2~100mmで一部最大径200mmの礫が認められる。 ・歪角礫が主体。 ・12.68~12.80m付近にマ・カン濃集部が認められる。
	12.75				砂	10YR 4/4 褐	
	13.00		礫混じり砂		砂	10YR 5/1 褐灰	
	13.53m		礫混じり砂		砂	2.5YR 6/4 赤	
	14.00m					1.5YR 7/4 橙	12.75~13.00m 礫率5~10%でクワリ礫を多く含む。 礫種はGpの礫径は2~10mm。 ・歪角礫が主体。
	15.00m						青岩
	16.00m						

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩Gr, 花崗斑岩Gp, アプライトAp 等
 境界 明瞭 — 不明瞭 - - - - 亀裂は赤線, 角度, 条線等

調査名

孔番・深度

H27B-2 (10 ~ 15)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破碎性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破碎度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
11.00m												
12.00m												
13.00m												
	13.53m			7.5YR 7/3 R3.5 橙					3			
14.00m	14.00		GP	10YR 7/3 =3.1 黄橙	C-V	D-8			3		CL	
									3			
15.00	14.89m											

「粗砂岩部」の参照

13.53 ~ 14.00m: CL
 20° 割れ目 30° 割れ目 50° 割れ目 全付一風化し、
 一部の割れ目には砂状化の進行。
 14.91m 幅4mで傾斜15°の石英脈が認め
 5本了。
 14.55 ~ 14.68m 割れ目沿いにマンガンの濃集部
 が認められた。一部(14.55 ~ 14.65m)
 で土砂化が生じている。
 14.89 ~ 15.00m スライムのため判別不可

調査名

孔番・深度

H27B-2 (15 ~ 20)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質	ROD				
	15.09		スライム	7.5YR 7/2 明褐色	x	x	x	x	x	x	x	x		15.00 ~ 15.09m スライムのため判別不可
												03	CL	15.62 ~ 15.66m スライム 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり
														15.80 ~ 16.00m スライム 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり
16.00m														
														16.50 ~ 16.51m スライム 割れ目に沿って緑泥石が発達
														16.76 ~ 16.86m スライム マンガン濃集部が密集して
17.00m														16.92 ~ 16.93m スライム 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり
	17.16		GpV		x	x	δ	3					CL	17.10m スライム 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり 17.16m 以上は深部割れ目から付着
05														17.59 ~ 17.64m スライム 割れ目に沿って緑泥石が発達
														17.90 ~ 17.80m スライム 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり
														17.90 ~ 17.94m スライム 割れ目に沿ったマンガン濃集部あり
18.00m														
05	18.59			7.5YR 7/4 明褐色										
19.00m														
05	19.59				x	x								19.59 ~ 19.80m 10% 粒度100μm以下 の200μm 石英と付着 19.70m 以下は深部割れ目から付着
	19.70				x	x	δ	3						
	19.80				x	x								
20.00m				7.5YR 7/2 明褐色	x	x	δ	3						

調査名

孔番・深度 H27 B-2 (20 ~ 25)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 20 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
0.5												
21					IV	D	S	3	12	12		
0.5												
21.99												
22			Gp	25YR 7/2 明褐色				5	0	8	CL	
0.5												
23					C	C	γ	3	23	23		
0.5												
24									27	15		
0.5												
25									0	7		

20.90 m 割れ目径約 10% 砂化。

21.90 m 10% 石英 80% 割れ目 (砂) 2-3mm (2-2.10/m)

21.79 ~ 22.82 m 硬さ「C」の主体である
硬さ「D」も含まれる両者の交互に出現する。
割れ目径は風化・砂化部分が多い。

22.18 ~ 22.49 m 硬さ「B」の硬質

23.52 ~ 30 と 23.82 ~ 20 m 割れ目径 2-10mm
円筒状の灰褐色粘土脈あり。

調査名

孔番・深度

427 B-2 (25 ~ 30)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 25 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	05											25.31m 20°割れ目(5)に 40.5%~1%を微細な雲 石(チナ石?)の混入(2nd).
	26								11	11		25.89m 74°の割れ目(5)は交差角 5~10°割れ目 20.2m (右2L、左位置 1~3%).
	05											
	26.82		Gp		2.5R 1/2 明揚灰				0	7	CZ	26.82m 以降は硬2Dの主体と判.
	27											27.15m 65°割れ目に幅 2~3% 軟質浸透した白色 粉砂岩は2D.
	05											
	28.02								0	9		27.91m 20°幅 1% 石英脈の交差角 85°地割れ目(5) 27.82V 1%の割れ目(5)の5%に雲石(2nd) (右2L 12.0% 28.02 以降 10%の割れ目(5)の地割れ目(5)の 序段~碎粒化(2nd). 割れ目(5)に地割れ目(5)の2% 28.02
	05											
	29								b	3		
	05											
	29.88											29.88~30.82V/D 割れ目 10% 以降は序段と判
30	30.80											

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 30 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質
05	32.10		GS	25YR 7/2 明褐色	✓	✓	✓	ε	3		D	同化の割れ目等に砂化の加工(2m). φ<20%の深さの「C」部が多量に認められ、粘土の 「砂状」を呈す。 基質は砂状部が主体で砂質、灰色粘土部が散在し る。 岩組織は上部の割れ目は滑らか(2m).	
	30.70			10YR 7/2 黄褐色	✗	✗	✗	δ	3	✓			✓
05	31.15		GS	25YR 7/3 灰褐色	✓	✓	✓	δ	4		D	HJ Hb Hc-2 HJ	● 31.15 ~ 31.66 m : 破砕帯 (主断面 31.29m) ● 31.15 ~ 31.34 m : HJ 上部20°連続的、下部15~20°で湾曲(連続)。一部粘土化 φ<5~10%の粘土と岩内面の粘土(1~2%)粘土部が主 部「粘土混じり粘土」を呈す。色調は10YR 7/2 厚さ10~20% ● 31.24 ~ 31.28 m : Hb 上部15~20°で湾曲(2)、下部30°で湾曲して連続。φ<3% 粘土化、φ<5~10%の粘土と粘土化(粘土)粘土部計20~30%を含む 固形物の「粘土混じり粘土」を呈す。色調は明褐色(25YR 7/2) 厚さ20~30% ● 31.28 ~ 31.29 m : Hc-2 30°で上部湾曲して、下部は連続的に連続。φ<3% 粘土化、φ<10~20%含む粘土(粘土)を呈す。色調は灰褐色 (10YR 7/2、厚さ5~10%) ● 31.29 ~ 31.66 m : HJ 上部30°で連続的、下部30°で湾曲して連続。φ<20% 深さの「C」部(粘土化、砂質)を含む粘土と粘土部 部「粘土混じり粘土」を呈す。色調は10YR 7/3、 厚さ35% (2m).
	31.66			25YR 7/2 灰褐色	✓	✓	✓	δ	3	✓			
05	31.78		GS	25YR 7/2 灰褐色	✓	✓	✓	δ	3		D	● 31.78 ~ 34.37 : D 同化の割れ目等に砂化の加工(2m) 岩組織は滑らか、割れ目は滑らか(2m)の割れ目 部は10~15%の粘土混じり粘土を呈す。 ● 33.00 ~ 33.25 : 粘土化連続、岩組織不明瞭を呈す。 ● 33.35 ~ 33.4 : 粘土の粘土主体。 ● 33.60 m : 5~10%粘土部が粘土粘土 ● 33.77 : 7%粘土部を呈す粘土部が粘土に分解 ● 33.79 ~ 33.87 : 粘土の粘土主体 ● 33.96 : 粘土部が粘土粘土部を呈す粘土部主体 割れ目一部は滑らか、滑らか(2m)の割れ目	
	32.56			25YR 7/2 灰褐色	✓	✓	✓	δ	3	✓			✓
05	33.96		GS	25YR 7/2 明褐色	✓	✓	✓	δ	3		D	● 33.96 ~ 34.40 m : 破砕帯 (主断面 34.37m) ● 33.96 ~ 34.37 m : Hc-1 13°で上部連続的、下部湾曲して連続。φ<5%粘土部が主 (5%以下)含む粘土粘土(粘土)。粘土は75%の粘土 2%粘土部を呈す粘土部。20%粘土部を呈す。 色調は粘土(10YR 7/2)、厚さ20% ● 34.37 ~ 34.40 m : Hb 上部13°で湾曲して、下部20°で連続的に連続。φ<3%粘土部	
	34.37			25YR 7/2 明褐色	✓	✓	✓	δ	3	✓			✓
05	34.40		GS	5Y 7/3 浅黄	✗	✗	✗	δ	4		D	Hc-1 Hb	● 34.37 ~ 34.40 m : 破砕帯 (主断面 34.37m) ● 34.37 ~ 34.40 m : Hc-1 13°で上部連続的、下部湾曲して連続。φ<5%粘土部が主 (5%以下)含む粘土粘土(粘土)。粘土は75%の粘土 2%粘土部を呈す粘土部。20%粘土部を呈す。 色調は粘土(10YR 7/2)、厚さ20% ● 34.37 ~ 34.40 m : Hb 上部13°で湾曲して、下部20°で連続的に連続。φ<3%粘土部
	34.40			25YR 5/3 灰黄	✓	✓	✓	δ	3	✓			
35													

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 4D (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
05	40.23		Gp	25YR 1/2 明褐色	V	V	E				DV	39.78 ~ 40.23 m : D 粘組織と割れ目は残存。一部の割れ目は厚さ10%程度の砂化。 40.23 ~ 41.90 m : CL 20~40% 割れ目の存在。一部の割れ目は滑り出し、2mm 以下あり。 割れ目は薄く、粘、2mm以下は2mm以下あり。
	40.73			25YR 7/3 灰褐色	C	V	D	δ	3			
41			Gp	25YR 7/4 灰褐色								41.90 ~ 43.94 m : D 流用中に割れ目と粘の砂化が増大。 粘、粘砂部と硬さ20~30% 粘り砂部と粘砂部 粘り砂部の存在。 粘組織と割れ目の一部は残存(2mm以下、 部分の粘り砂部と20% 粘砂部あり。
	41.90											
05	42.37		Gp	10YR 7/4 灰褐色								42.09 ~ 43.30 m : D 硬さ20% 粘り砂部と粘砂部あり。 粘り砂部と粘砂部あり。 42.50 ~ 42.71 m
	42.94											
43			Gp	10YR 7/4 灰褐色								43.46 ~ 43.55 m : D 割れ目と粘り砂部と粘砂部あり。 粘り砂部と粘砂部あり。 粘り砂部と粘砂部あり。 粘り砂部と粘砂部あり。
	43.94											
05	44.20		Gp	25YR 7/2 明褐色								44.77 m : D 割れ目と粘り砂部と粘砂部あり。 粘り砂部と粘砂部あり。 粘り砂部と粘砂部あり。 粘り砂部と粘砂部あり。
	45.00											

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 45 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
												45.10 ~ 45.25 " 珪石" C" の浸透部が分布
46	45.96		GP	スズR 1/2 明褐色	✓	✓	✓	○	3	✓	3	45.96 ~ 46.31 " 同は珪石" C" の浸透。割れ目は厚さ1.0 ~ 2.0mm 程度で砂状化可。
	46.31											
47	47.06		GP	スズR 1/2 明褐色	✓	✓	✓	○	3	✓	3	46.74 ~ 46.85 " 割れ目無しで砂状化進捗 珪石" E" の主体 47.90 ~ 47.06 " 珪石" C" の浸透部が分布。割れ目は厚さ1.0 ~ 2.0mm 程度で砂状化可。
	47.50											
48	47.85		GP	スズR 1/2 明褐色	✓	✓	✓	○	3	✓	3	47.06 ~ 47.50 m : D 岩級はDと割れ目は消滅(=1D) 珪石" O" 主体の厚さ10%程度の砂状化(=1D)
	47.90											
49	48.52		GP	スズR 1/2 明褐色	✓	✓	✓	○	3	✓	3	47.50 ~ 48.80 m : CL 47.85m 以降は珪石" D" 主体。47.85m 以降は珪石" C" 主体。47.85m 以降は珪石" E" 主体。割れ目は一部で砂状化進捗。片断は砂状化(=2D)
	48.88											
49	48.92		GP	スズR 1/2 明褐色	✓	✓	✓	○	3	✓	3	48.12 ~ 48.16 m 上端30、下端20の割れ目に同様の珪石 砂状化Eまで。 48.40 ~ 48.49 " 上記同様は珪石。砂状化進捗。 48.49 ~ 48.88 m 60%割れ目主体。割れ目は砂状化の 珪石が分布可。(1.25割れ目は主に断面と同様の進捗)
	48.92											
50	48.92		GP	スズR 1/2 明褐色	✓	✓	✓	○	3	✓	3	48.88 ~ 48.92 m : Hc-2 48.88 m : Hc-2 上端56、下端56の割れ目に連続。φ1.5 ~ 1.0mmの石英粒E 20% 程度を含む半固結状の粘土(砂状)。色調は黒褐色(10YR 3/1) 厚さ1.0mm。マントル砂状化進捗。マントル。 48.88 ~ 48.92 m : Hc 上端56、下端56の割れ目に連続。φ1.5 ~ 1.0mmの石英粒 φ3.5 ~ 2.0mmの石英粒E 20%程度を含む半固結状の砂状 粘土状。下端部にはマントル砂状化進捗。 色調は黄褐色(10YR 4/2) ~ 黒褐色(10YR 3/1)。下端部の厚さ 2.0mm。
	48.92											

47
45
5

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (50 ~ 55)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 50 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05				2.5YR 7/3 白濁	✓ c	✓ IV	✓ c	δ	2				49.00 ~ 49.34 m: 割れ目なしに風化の砂状化の連続。コアは 7割以上4割程度に砕かれ、外周は砕片コアに属(2)。 割れ目なしに風化の砂状化の連続。岩質割れ目なし の連続。下部の下部に砂状化の連続。 風化の連続の連続。風化の砂状化の連続。下部に砂状化の連続。 風化の連続の連続。上下端は砂状化の連続。
51										✓ 10	✓ 10		51.15 ~ 51.50 m: 上下端は砂状化の連続。砂状化の連続の連続。砂状化の連続の連続。 (上下端は砂状化の連続の連続)。
05	51.51				X			X				CL ✓	51.51 m 以降は風化の連続。割れ目なしに風化の連続の連続。 砂状化の連続。砂状化の連続の連続。砂状化の連続の連続。 砂状化の連続の連続。
52			Gp ✓	10YR 7/3 白濁 黄濁	✓ c	✓ V	✓ D	δ	3	✓ 10	✓ 9		52.18 ~ 52.22 m: 細粒混濁の粗粒化。水浸の連続。
05	52.42				X								52.42 ~ 52.99 m: CM 砂状化の連続の連続。一部は岩質の連続。割れ目なしの連続。 割れ目なしの連続。砂状化の連続の連続。
53					X	✓ c	✓ W	δ		✓ 11	✓ 11		52.99 ~ 53.20 m: CL 割れ目なしに砂状化の連続。砂状化の連続の連続。割れ目なしの連続。
05	53.44				X	✓ d	✓ VI	✓ E	ε				53.20 ~ 53.55 m: D 岩質の連続の連続。割れ目は砂状化の連続。砂状化の連続の連続。 砂状化の連続の連続。砂状化の連続の連続。
54				2.5YR 7/2 黄濁	✓ c	✓ IV	✓ D	δ	3				53.55 ~ 54.10 m: CL 一部は砂状化の連続。割れ目なしの連続。砂状化の連続の連続。 砂状化の連続の連続。
05	54.10									✓ 0	✓ 4		54.10 ~ 54.72 m: D 風化の砂状化の連続。 54.37 ~ 54.46 m: 砂状化の連続。砂状化の連続の連続。 54.60 m 以降は砂状化の連続。
55				2.5YR 7/1 黄濁									54.72 ~ 54.77 m: H6 砂状化の連続。下部は砂状化の連続。砂状化の連続の連続。砂状化の連続の連続。
05	54.60				✓ d	✓ VI	✓ E	ε					54.72 ~ 54.77 m: H6 砂状化の連続。下部は砂状化の連続。砂状化の連続の連続。砂状化の連続の連続。
05	54.72												
05	54.77												
05	55.00									✓ 0	✓ 4		

48
51
↑

↓
53
54
55

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (55 ~ 60)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 55 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
05	55.24		Gp	2.5YR 7/1 明赤灰	d	V	E	δ	4		DV	粘土化は 95~10% 割れ目 30~50% 含む軟質の「輝岩粘土」 2.5YR 7/1 深灰色の粘土。呈帯。マニシ酸等E一部に1~2の 色調の明褐色(5YR 7/2) 厚さ 80~50m -59.77m: Hc-1 29% 下端部直線的に連続。石英粒、粘片は殆ど含まず (5%以下) 軟質粘土(粘土)。色調は灰褐色(2.5YR 7/2) 厚さ 30m 59.77 ~ 55.24 m: D 全体に粘土を含む 55.00m 以下では粘片中 20% 磁鉄部を除くには含む 55.00m 以下では 60% 粘土部は赤褐色粘土細粒E 多く含む。 55.24 ~ 57.70 m: CL 深灰色の粘土の主体 割れ目には月化の進む部分の硬さの粘土の粘土の粘土部 も分布する。 割れ目には 20% 磁鉄部を、割れ目には同色の粘土も分布する。 56.05 ~ 57.00m 以下 割れ目には月化の進む粘土、粘土部 深灰色の粘土 10% 粘土の外に粘土の粘土部も分布する。 57.00~57.45m は粘土の低割れ目 - 粘土、 90% 程度は粘土化している。 粘土の硬さは「粘土」と硬質粘土も多く含む。 57.45 ~ 57.70 m、割れ目には粘土の進む 全体に 上層部粘土の進む。 57.70 ~ 57.99 m: D 粘土の粘土と割れ目には粘土の粘土 全体に粘土の粘土の粘土 部は粘土、粘土の粘土部も分布する。 57.99 ~ 58.28 m: CL 粘土の粘土は 20~30% 割れ目 10~30% 同層の同層の粘土 マニシ酸等粘土。 58.28 ~ 58.73 m: CM マニシ酸等粘土の粘土の粘土の粘土、粘土の粘土の粘土の 粘土部は分布する。 58.73 ~ 59.71 m: CL 割れ目には粘土、粘土の低割れ目も 全体に粘土。 59.35 ~ 59.54 m 同層の粘土の粘土
	56.29			10YR 5/2 灰褐色	c	V	D	δ	3		CL	
05	57.45		Gp	10YR 7/2 灰褐色	s	V	E	δ	3		DV	59.00 ~ 60.00 m: D 粘土の粘土と割れ目には粘土の粘土 全体に粘土の粘土の粘土 部は粘土、粘土の粘土部も分布する。 57.99 ~ 58.28 m: CL 粘土の粘土は 20~30% 割れ目 10~30% 同層の同層の粘土 マニシ酸等粘土。 58.28 ~ 58.73 m: CM マニシ酸等粘土の粘土の粘土の粘土、粘土の粘土の粘土の 粘土部は分布する。 58.73 ~ 59.71 m: CL 割れ目には粘土、粘土の低割れ目も 全体に粘土。 59.35 ~ 59.54 m 同層の粘土の粘土
	57.70			2.5YR 6/3 灰褐色	s	V	C	δ	3		CL	
05	57.99		Gp	2.5YR 6/3 灰褐色	b	V	B	δ	3		CM	59.00 ~ 60.00 m: D 粘土の粘土と割れ目には粘土の粘土 全体に粘土の粘土の粘土 部は粘土、粘土の粘土部も分布する。 57.99 ~ 58.28 m: CL 粘土の粘土は 20~30% 割れ目 10~30% 同層の同層の粘土 マニシ酸等粘土。 58.28 ~ 58.73 m: CM マニシ酸等粘土の粘土の粘土の粘土、粘土の粘土の粘土の 粘土部は分布する。 58.73 ~ 59.71 m: CL 割れ目には粘土、粘土の低割れ目も 全体に粘土。 59.35 ~ 59.54 m 同層の粘土の粘土
	58.28			2.5YR 6/3 灰褐色	s	V	C	δ	3		CL	
05	58.73		Gp	2.5YR 6/3 灰褐色	b	V	B	δ	3		CM	59.00 ~ 60.00 m: D 粘土の粘土と割れ目には粘土の粘土 全体に粘土の粘土の粘土 部は粘土、粘土の粘土部も分布する。 57.99 ~ 58.28 m: CL 粘土の粘土は 20~30% 割れ目 10~30% 同層の同層の粘土 マニシ酸等粘土。 58.28 ~ 58.73 m: CM マニシ酸等粘土の粘土の粘土の粘土、粘土の粘土の粘土の 粘土部は分布する。 58.73 ~ 59.71 m: CL 割れ目には粘土、粘土の低割れ目も 全体に粘土。 59.35 ~ 59.54 m 同層の粘土の粘土
	58.93			2.5YR 6/3 灰褐色	c	V	B	δ	3		CL	
05	59.35		Gp	2.5YR 6/3 灰褐色	b	V	B	δ	3		CM	59.00 ~ 60.00 m: D 粘土の粘土と割れ目には粘土の粘土 全体に粘土の粘土の粘土 部は粘土、粘土の粘土部も分布する。 57.99 ~ 58.28 m: CL 粘土の粘土は 20~30% 割れ目 10~30% 同層の同層の粘土 マニシ酸等粘土。 58.28 ~ 58.73 m: CM マニシ酸等粘土の粘土の粘土の粘土、粘土の粘土の粘土の 粘土部は分布する。 58.73 ~ 59.71 m: CL 割れ目には粘土、粘土の低割れ目も 全体に粘土。 59.35 ~ 59.54 m 同層の粘土の粘土
	59.54			2.5YR 6/3 灰褐色	b	V	B	δ	3		CM	
05	59.71		Gp	2.5YR 6/3 灰褐色	c	V	B	δ	3		CL	59.00 ~ 60.00 m: D 粘土の粘土と割れ目には粘土の粘土 全体に粘土の粘土の粘土 部は粘土、粘土の粘土部も分布する。 57.99 ~ 58.28 m: CL 粘土の粘土は 20~30% 割れ目 10~30% 同層の同層の粘土 マニシ酸等粘土。 58.28 ~ 58.73 m: CM マニシ酸等粘土の粘土の粘土の粘土、粘土の粘土の粘土の 粘土部は分布する。 58.73 ~ 59.71 m: CL 割れ目には粘土、粘土の低割れ目も 全体に粘土。 59.35 ~ 59.54 m 同層の粘土の粘土
	60.00			2.5YR 6/3 灰褐色	d	V	E	δ	3		DV	

53-59
↑
2P

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (60 ~ 65)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 60 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	
05	60.00		Gp	2.5YR 4/4 灰褐色	✓	✓	β	δ	3	C2		60.00 ~ 60.26 m : C2 50-55% 粗粒の主体 割れ目 2mm ~ 5mm 程度あり。		
	60.12													60.26 ~ 60.69 m : 破砕帯 (主断面 60.58m) 60.26 ~ 60.58 m : HJ 上部は砂の一部崩壊した下層部は砂の連続体で風化し、下部は10°の波打と連続。φ5~10% 硬土E2 粘片と粘片同様の粘土化の粗粒の砂。下部は主にC2の砂と同方向の細粒の割れ目あり。色調は10YR 6/4。厚さ320μm (27巻)。
	60.26			10YR 6/4 10YR 黄褐色					3				HJ	60.58 ~ 60.59 m : Hc-1 10°と上下端は波打と連続。φ1% 石英粒と約20% 含土軟弱粘土(δ2)。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ10~12μm
	60.50			10YR 6/4 10YR 黄褐色	✓	✓	β	ε	4				Hc-1	60.59 ~ 60.69 m : HJ 上部10°。上部30° 粘片と粘片同様の波打と連続。φ5~20% 硬土粘片と粘片同様の粘土化の粗粒の砂。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ100μm (27巻)。
	60.59			2.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	β	ε	4				HJ	60.69 ~ 61.29 m : D 上部10°。上部30° 粘片と粘片同様の波打と連続。φ5~20% 硬土粘片と粘片同様の粘土化の粗粒の砂。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ100μm (27巻)。
61	60.78			2.5YR 7/4 10YR 黄褐色					3			61.29 ~ 61.41 m : Hc-1 10°と上下端は波打と連続。φ1% 石英粒と約20% 含土軟弱粘土(δ2)。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ10~12μm		
	61.29			4.0/1 7.5YR 6/4 10YR 黄褐色	✓	✓	β	ε	4		HJ	61.41 ~ 61.43 m : Hc-1 10°と上下端は波打と連続。φ1% 石英粒と約20% 含土軟弱粘土(δ2)。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ10~12μm		
	61.41			2.5YR 7/4 10YR 黄褐色					3			61.43 ~ 61.69 m : HJ 上部10°。上部30° 粘片と粘片同様の波打と連続。φ5~20% 硬土粘片と粘片同様の粘土化の粗粒の砂。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ100μm (27巻)。		
05	61.43			4.0/1 7.5YR 6/4 10YR 黄褐色	✓	✓	β	ε	4		HJ	61.69 ~ 61.89 m : Hc-1 10°と上下端は波打と連続。φ1% 石英粒と約20% 含土軟弱粘土(δ2)。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ10~12μm		
	61.69			7.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	β	ε	3		C2V	61.89 ~ 62.39 m : C2 50-55% 粗粒の主体 割れ目 2mm ~ 5mm 程度あり。		
	62.39			2.5YR 7/4 10YR 黄褐色	✓	✓	β	ε	4			62.39 ~ 62.75 m : D 上部約10°と20% 硬土E2 粘片と粘片同様の砂の連続体。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ10~12μm		
62	62.59			7.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	β	ε	3		C2V	62.75 ~ 63.75 m : D 上部約10°と20% 硬土E2 粘片と粘片同様の砂の連続体。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ10~12μm		
	63.75			2.5YR 7/4 10YR 黄褐色	✓	✓	β	ε	4			63.75 ~ 63.85 m : Hc-1 10°と上下端は波打と連続。φ1% 石英粒と約20% 含土軟弱粘土(δ2)。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ10~12μm		
	63.85			7.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	β	ε	3			63.85 ~ 64.49 m : D φ10~20% 硬土E2 粘片と粘片同様の砂の連続体。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ10~12μm		
05	64.49			7.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	β	ε	3			64.49 ~ 64.89 m : D φ10~20% 硬土E2 粘片と粘片同様の砂の連続体。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ10~12μm		
	64.89			7.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	β	ε	3			64.89 ~ 65.18 m : C4 上部10°。上部30° 粘片と粘片同様の波打と連続。φ5~20% 硬土粘片と粘片同様の粘土化の粗粒の砂。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ100μm (27巻)。		
	65.18			7.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	β	ε	3		C4	65.18 ~ 65.49 m : D φ10~20% 硬土E2 粘片と粘片同様の砂の連続体。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ10~12μm		
65	65.49			7.5YR 7/2 明褐色	✓	✓	β	ε	3		C4	65.49 ~ 65.80 m : D φ10~20% 硬土E2 粘片と粘片同様の砂の連続体。色調は明褐色(5YR 7/2)。厚さ10~12μm		

60 ~

60 ~

60 ~

60 ~

60 ~

60 ~

60 ~

60 ~

60 ~

60 ~

60 ~

60 ~

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (65 ~ 70)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 65 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分				
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					変質	ROD	
65	65.18		Gp	2.5YR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2			CH	<p>64.63 ~ 65.73 m 上端45% 下端50% 割れ目状の片状~角状の砂岩。粘土質の砂岩部も分布する。</p> <p>65.18 ~ 65.36 m = D</p> <p>割れ目状の砂岩。粘土質の砂岩部も分布する。</p> <p>65.36 ~ 68.27 m : CL</p> <p>片状の砂岩と粘土質の砂岩の交互層。透水性が低い。</p> <p>粘土質の砂岩は粘土と含有量が多い。</p> <p>上端部と下部部は経路状の片状、中部は片状の砂岩の一部割れ目状の砂岩に変わる。</p> <p>65.96 ~ 66.0 / m は砂岩の侵入による。</p> <p>65.00 ~ 65.17 m 長柱状の砂岩(長さ17cm)</p> <p>66.20 ~ 68.01 m 上下部は粘土質の砂岩に変わる。</p> <p>66.39 ~ 66.65 m 割れ目状の砂岩に変わる。</p> <p>66.39 ~ 66.44 m 砂岩の一部割れ目状の砂岩に変わる。</p> <p>66.65 ~ 67.00 m 硬い砂岩の層がある。</p> <p>67.00 ~ 67.46 m 落下した砂岩の層がある。</p> <p>67.48 ~ 67.63 m 長柱状の砂岩(長さ15cm)</p> <p>67.65 ~ 68.01 m 硬い砂岩の一部割れ目状の砂岩に変わる。</p> <p>68.01 m 以下は割れ目状の砂岩に変わる。</p> <p>コア入りの砂岩の層がある。</p> <p>68.27 ~ 68.34 m : 破砕帯(主断面68.27 m)</p> <p>68.34 ~ 68.37 m : Hc-1</p> <p>90°と上下部は直線的に連続。粘土質の砂岩に少量(5%以下)含む軟弱粘土(砂岩)。透水性は低い。厚さ1~2cm</p> <p>68.27 ~ 68.34 m : Hc-1</p> <p>上端40°と下部90°と湾曲(一部、灰黄褐色(1/2)幅)の軟弱粘土層に連続。主断面と同方向の割れ目とこれに垂直な割れ目とが10%に分布。片状と片状の一部幅1cm 白~淡黄色軟弱粘土層(砂岩)の層がある。透水性は低い(2.5YR 7/3)。厚さ65cm</p> <p>68.34 ~ 69.69 m : CM</p> <p>堅硬の砂岩。割れ目状の砂岩。一部は長柱状の砂岩に変わる。塊状の砂岩。69.30 ~ 69.40 m の90°割れ目状の砂岩の一部は粘土質。</p> <p>68.34 ~ 68.38 m は粘土質。</p> <p>69.69 ~ 69.95 m : CL</p> <p>69.01 ~ 69.95 m は割れ目状の砂岩に変わる。粘土質の砂岩に変わる。</p> <p>69.95 ~ 70.06 m : CM</p>		
	65.36														DV
66	65.96			2.5YR 3/4 明褐色							✓	✓			
	66.20			2.5YR 3/4 灰褐色	✓										
67	66.39														
	66.65														
68	67.00				✓	✓	✓	β	2					CL	
	67.46														
69	67.65														
	68.01														
70	68.27														
	68.34														
70	68.37														
	68.34		2.5YR 6/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2							
70	69.00														
	69.69														
70	69.95			✓	✓	✓	β	2							
	70.06														

↑
↓
56P
66
5
69

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 70 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
0.5					✓ b	✓ IV	✓ B	β	2			CM	
71	71.06			2.5YR 6/2 灰褐						✓ 37	✓ 13		
0.5					✓ c	✓ D	δ	3				CL	
72	71.88		Gp							✓ 11	✓ 11		
0.5													
73					✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 26	✓ 15		CM
0.5													
74										✓ 18	✓ 18		
0.5													
75										✓ 0	✓ 8		

割れ目には粘土と鉄在物は分布しないが、22.65~57°と70.70~60°割れ目に固まって片状化す。
前者の割れ目は断面に幅1~2cm片状化。φ0.5~1mmの塵土(粘土)の混入は認めない。

71.06~71.88m : CL
30°と60~75°割れ目が交差し、交差部の一部には厚さ10~60%で片状化部~砂岩状を呈す。
粘化部も点状に認められる。

71.88~72.11m : CM
一部で同様の片状部を幅2~3%で挟む。塊状物は分布しない割れ目が多い。

72.48m~74.57m 割れ目には褐色化進んだ石炭質の粘化部は認めない。

74.57~75.16m は長さ10cm以上の硬質コア主体

75.20~75.00°は20~30°と60~70°割れ目の交差。交差部の一部で片状~角状化部~砂岩部で粘化部は伴わない。

74.85~75.00m 割れ目には粘土の混入は認めない。

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (75 ~ 80)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 75 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
05					6	IV	B	β	2		CM	
76	76.01									27	27	
05				75YR b/2 圧縮								
05					c	V	B	γ	2		CL	
77	77.02		Gp					02		0	9	
05												
78										27	15	
05					6	IV	B	β	2		CM	
79	79.00									15	15	
05												
05	79.67											
05					c	V	C	γ	3		CL	
80										0	8	

75.65 ~ 75.92 m は内部に4割割れ目付着度の低い割れ目と粘土質の長さ26cm のコア

76.11 ~ 77.02 m : CL
 割れ目の交差は10~30%の片状の解離性化が、
 若干部分は硬質で、一部は軟質。
 一部の割れ目は1~5%の細粒状に幅10%以下で
 幅1200μm、砂や粘土は存在しない。
 全体は長石の白濁化が認められる。

77.02 ~ 79.47 m : CM
 全体的に硬質であるが、77.43 m ~ 78.00 m 10%程度の
 粘着性の低い割れ目が多く、一部の割れ目は10%前後
 に幅広、細粒化し易い。
 概して、同層内では割れ目のマニオン軟化と若干割れ目の一部
 は黒褐色化する。
 77.21 m 交差する割れ目の一部で、幅2~3%の砂状化が認められ、
 砂状部分は割れ目全体に連続しない。

78 m 付近は長さ10cm 前後のコアと連係しており、一部は粘着性の低い割れ目と粘土質の存在が認められる。
 78.40 m 割れ目付にマニオン軟化が認められる。

79 m 付近では長石結晶の白濁化が認められる。
 79.10 m、40%割れ目付に幅10~15%の深緑色化、
 面付に0.25~0.5m以下の微細な層の(セリサイト)が認められる。

79.47 ~ 80.19 m : CL
 30~50%と70%割れ目の交差、交差部の一部で10%程度の
 粗粒化。
 70%割れ目の一部に幅2~3%の浸食~粘着性粘土付着が認められる。
 79.83 ~ 79.90 m 割れ目付に砂状の0.2~0.5%解離性化
 進む。少量の粘土が付着する。

調査名

孔番・深度

h27B-2 (80 ~ 85)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

深尺 m	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの傾き	風化	変質				
80	80.19		7.5TR 1/2 灰褐	7.5TR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	γ	3		CL	80.19 ~ 80.48 m: CM 一部のOPK 寄着度の低い割れ目と含まれる 割れ目 挟在物は分布しない。	
	80.48				✓	✓	✓	β	2		CM		
81	81.10		7.5TR 1/2 灰褐	7.5TR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2	✓ ₂₀		80.48 ~ 83.12 m: CH 既述の概ね半風化の寄着度。割れ目には挟在物 は分布しない。 中層割れ目は、寄着度の低い割れ目とは一部に分布 する程度。 全体で約2~3% 暗緑色鉱物(緑泥石)の品出し あり。 長石の白濁化は殆んど認められない。 81.10, 81.35 m 付近5%の斑状状にマクロ結晶を 示す褐色を認め、交代は伴わない。	
	81.35				✓	✓	✓	β	2	✓ ₁₀			
82	82.10		7.5TR 1/2 灰褐	7.5TR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	β	2	✓ ₂₀	✓ ₁₀	81.10 ~ 82.10 m 斑状変質に約4~5~10% 斑状状 ~ 10% 脈状の石英の品出し。上下に粗粒石英と なっている。 82.12 ~ 82.46 m .07 m 寄着度の低い割れ目と含む	
	82.46				✓	✓	✓	β	2	✓ ₂₃	✓ ₁₀		CH
83	83.12		7.5TR 1/2 灰褐	7.5TR 1/2 灰褐	✓	✓	✓	δ	3	✓ ₆₈	✓ ₄₅	83.12 ~ 83.79 m: CL 83.46 m 以下は20~30割れ目あり。割れ目には砂状の マクロ結晶を伴う。若くは硬いD ₁ に交代する 83.46 m 以下は割れ目が多い。硬質の挟在物を殆んど 分布しない。	
	83.79				✓	✓	✓	β	2	✓ ₁₁	✓ ₁₁		CL
84	84.43		7.5TR 1/3 灰褐	7.5TR 1/3 灰褐	✓	✓	✓	γ	2	✓ ₁₁	✓ ₁₁	83.79 ~ 84.43 m: CM 既述 84.35 ~ 84.30 m 10~15割れ目と2~3割れ目あり。マクロ結晶を 伴う。割れ目 挟在物は分布しない。 一部は中層割れ目の分布あり。寄着度低く、1/2~1/3 程度に 分離する。	
	84.61				✓	✓	✓	γ	2	✓ ₁₂	✓ ₁₂		CM
85	85.01		7.5TR 1/3 灰褐	7.5TR 1/3 灰褐	✓	✓	✓	δ	3	✓ ₁₂	✓ ₁₂	84.43 ~ 84.61 m: CL 既述 一部に割れ目と1/2, 砂状の斑状状の 寄着度の低いD ₁ 。→	
	85.01				✓	✓	✓	δ	3	✓ ₁₂	✓ ₁₂		CL

16270
↓
84
5
87

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 85 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分				
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質			
85	85.24		Gp	55R 5% 100% 錫	✓	✓	D				C2	・85.15m, 50°幅5% 粘質圧縮粘土状に硬。 ・85.24~85.35m 砂状化の透入を以て、40°前後の割れ目残存。 ・85.50~85.58m: D. 粘土化の透入。 ・85.58~85.76m: 破砕帯 (主断面85.63m) ・85.58~85.63m: HJ 上端40°連続的に、下端40°一部不明部分の連続的に連続。 5~10% 硬さの粘片と粘片間の粘土部5割粘片混じり粘片 状と呈す。上端付近に幅5% 粘質帯が主断面に40° 同方向に分布する途中で消滅する。 色調は灰黄(2.5Y7/2), 厚さ55% ・85.63~85.64m: Hc-2 下端は粘質に連続。 ・40°上端は一部不明部分の連続的に連続。2~3mm 石英 粒, 5% 硬さの粘片と10% 含む粘質粘土(0.5%)。 色調は淡黄(2.5Y8/2), 厚さ5% ・85.64~85.76m: HJ 上端40°硬質で、下端32°幅1~2%の粘質圧縮(2.5Y7/2) 粘片混じり連続的に連続。主断面同方向に斜交割れ目 幅10% に粘片化を以て、粘片間の一部は粘片に砂状化し 幅1% 厚さ色(2.5Y8/2)粘片帯が、85.68m, 53°の砂状 粘土の砂状化を以て、一部は硬質粘質帯に砂状化を以て、 全体は「粘土・砂状化粘片」呈す。 色調は淡黄(2.5Y8/2)~100% (7.5Y8/2), 厚さ100~120% 85.76~87.47m: C2 87.52°の粘質に硬さの粘片主体で、粘片主体で、粘片 一部は短柱状の粘土を含む。前者は割れ目の一部を 砂状化する。 85.76~86.00m は石英と10% 硬さの粘片、幅2%、40°粘片状に 含む。 87.47~87.90m: CH 連続。長砂一部は角状砂。 一部は砂割れ目を含む。粘質度高く、100%の粘質粘土の分離。 87.90~88.38m: C2 粘片帯の一部は角状砂・砂状化する。 粘質度の低い粘質帯に割れ目が多く、100%の粘質粘土の分離に 分離・細砂化し易い。 ・88.38~88.43m: 破砕帯 (主断面88.43m) ・88.38~88.42m: HJ 50°上端は連続的に粘質帯に連続。下端は連続的に連続。 主断面同方向に割れ目。粘片と粘片間の斜交割れ目に5% 幅10%の粘片化を以て、粘片間の一部は粘片に砂状化を以て、 粘片間の砂状化を以て、全体は「粘質帯」呈す。 色調は小水黄褐(7.5Y7/2), 厚さ35% ・88.42~88.43m: Hc-1 50°上下端は連続的に連続。石英粒、粘片と粘片間の粘質 粘質粘片(0.5%)、色調は明黄褐(10Y7/2), 厚さ5% 88.93~88.98m: C2 20~40°の粘質帯に連続的に割れ目呈す。一部は粘質に硬さ。 ・88.98~89.84m: 破砕帯 (主断面89.92m) ・88.98~89.92m: HJ 30°上端は幅25%の粘質帯の粘片に連続的に、下端は連続 的に連続。主断面同方向に幅5%の粘片に呈す。粘片の 粘片に粘片化(2%)。粘片間の粘片に1%以下に粘片に砂状 化を以て、全体は「粘土・粘質帯」粘片に呈す。 色調は小水黄褐(10Y7/2), 厚さ15~20% ・89.92~89.94m: Hc-2 30°上下端は連続的に連続。粘片、粘片と粘片間の粘質粘 粘片(0.5%)、色調は明黄褐(10Y7/2), 厚さ15~20%			
	85.58				✓	✓	✓	3					D		
	85.63													C2	
	85.64													D	
	85.76													HJ	
	86	86.52													C2
		86.52													C2
		86.52													C2
	87	87.47													C2
		87.47													C2
		87.47													C2
	88	87.90													C2
		87.90													C2
		87.90													C2
	89	88.38													C2
88.38											C2				
88.38											C2				
90	89.92										C2				
	89.92										C2				
	89.92										C2				

85.50~85.58: D.
粘土化の透入。
85.58~85.76m: 破砕帯 (主断面85.63m)
85.58~85.63m: HJ
上端40°連続的に、下端40°一部不明部分の連続的に連続。
5~10% 硬さの粘片と粘片間の粘土部5割粘片混じり粘片
状と呈す。上端付近に幅5% 粘質帯が主断面に40°
同方向に分布する途中で消滅する。
色調は灰黄(2.5Y7/2), 厚さ55%
85.63~85.64m: Hc-2 下端は粘質に連続。
40°上端は一部不明部分の連続的に連続。2~3mm 石英
粒, 5% 硬さの粘片と10% 含む粘質粘土(0.5%)。
色調は淡黄(2.5Y8/2), 厚さ5%
85.64~85.76m: HJ
上端40°硬質で、下端32°幅1~2%の粘質圧縮(2.5Y7/2)
粘片混じり連続的に連続。主断面同方向に斜交割れ目
幅10% に粘片化を以て、粘片間の一部は粘片に砂状化し
幅1% 厚さ色(2.5Y8/2)粘片帯が、85.68m, 53°の砂状
粘土の砂状化を以て、一部は硬質粘質帯に砂状化を以て、
全体は「粘土・砂状化粘片」呈す。
色調は淡黄(2.5Y8/2)~100% (7.5Y8/2), 厚さ100~120%
85.76~87.47m: C2
87.52°の粘質に硬さの粘片主体で、粘片主体で、粘片
一部は短柱状の粘土を含む。前者は割れ目の一部を
砂状化する。
85.76~86.00m は石英と10% 硬さの粘片、幅2%、40°粘片状に
含む。
87.47~87.90m: CH
連続。長砂一部は角状砂。
一部は砂割れ目を含む。粘質度高く、100%の粘質粘土の分離。
87.90~88.38m: C2
粘片帯の一部は角状砂・砂状化する。
粘質度の低い粘質帯に割れ目が多く、100%の粘質粘土の分離に
分離・細砂化し易い。
88.38~88.43m: 破砕帯 (主断面88.43m)
88.38~88.42m: HJ
50°上端は連続的に粘質帯に連続。下端は連続的に連続。
主断面同方向に割れ目。粘片と粘片間の斜交割れ目に5%
幅10%の粘片化を以て、粘片間の一部は粘片に砂状化を以て、
粘片間の砂状化を以て、全体は「粘質帯」呈す。
色調は小水黄褐(7.5Y7/2), 厚さ35%
88.42~88.43m: Hc-1
50°上下端は連続的に連続。石英粒、粘片と粘片間の粘質
粘質粘片(0.5%)、色調は明黄褐(10Y7/2), 厚さ5%
88.93~88.98m: C2
20~40°の粘質帯に連続的に割れ目呈す。一部は粘質に硬さ。
88.98~89.84m: 破砕帯 (主断面89.92m)
88.98~89.92m: HJ
30°上端は幅25%の粘質帯の粘片に連続的に、下端は連続
的に連続。主断面同方向に幅5%の粘片に呈す。粘片の
粘片に粘片化(2%)。粘片間の粘片に1%以下に粘片に砂状
化を以て、全体は「粘土・粘質帯」粘片に呈す。
色調は小水黄褐(10Y7/2), 厚さ15~20%
89.92~89.94m: Hc-2
30°上下端は連続的に連続。粘片、粘片と粘片間の粘質粘
粘片(0.5%)、色調は明黄褐(10Y7/2), 厚さ15~20%

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 90 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
	90.45		Gp	2.5YR 4/2 灰褐色	✓ d	✓ VI	✓ E	ε			
05	90.81			2.5YR 4/3 灰褐色					3		
	91.00				✓ c	✓ V	✓ E	δ			
05	91.69				✓ d	✓ VI	✓ E	ε	4		
	91.70				✓ c	✓ V	✓ E	δ			
92	92.60				✓ c	✓ V	✓ E	δ			
	92.78				✓ c	✓ V	✓ E	δ			
05	93.00				✓ c	✓ V	✓ E	δ			
93	93.00				✓ c	✓ V	✓ E	δ	3		
05	94.00				2.5YR 6/4 緑褐色	✓ c	✓ V	✓ E	δ		
	94.09			2.5YR 5/4 緑褐色	✓ c	✓ V	✓ E	δ			
95	94.09			2.5YR 5/4 緑褐色	✓ c	✓ V	✓ E	δ	2		

90.94 ~ 91.69 m : D

- 割れ目には風化の産物、砂状化部が稀に(20% 90.9)分布
- 幅5~20%の薄板状の「白」岩片、珪岩、固結砂状部
- と基質との「砂状」を呈し、粗粒部はほぼ消滅した。
- 90.91m以下は硬2.0の岩片主体の珪岩塊と割れ目の大半が砂状
- 割れ目の一部は珪岩塊、60~80°主体
- 90.50m 60°厚2~3%の石英脈が分布
- 91.07m 珪岩塊は珪岩岩片の割れ目と砂状部の一部をマニオン磁鉄受が黒染めしている。
- 91.04m、91.20m 割れ目厚2.1%の珪岩を灰色粘土状に分布、前者はマニオンと後者は砂状を呈す。
- 91.60m以下では3~4%長石結晶が多数あり、2055 主軸断面に平行して長さ6~8mm断面方向に配列する。

91.69 ~ 91.76 m : 破砕帯 (主軸断面 91.70m)

- 91.69 ~ 91.70 m : Hc-1
- 51°と5°の産物で、下部は連続的に連続、4~5%石英粒、4~5%前後の硬2.0の岩片、10~20%含む珪岩質の珪岩塊状を呈す。割れ目厚2.5YR 5/2、厚さ2~12%、上部側の一部は白粘土状のマニオン磁鉄受。
- 厚さ3~4%mm
- 91.70 ~ 91.72 m : Hb
- 上部51°の産物で、下部5°の産物で連続、4~5%石英粒、4~5%前後の硬2.0の岩片、10~20%含む珪岩質の珪岩塊状を呈す。割れ目厚2.5YR 5/2、厚さ2~12%mm
- 91.72 ~ 91.76 m : HJ
- 上部51°の産物で、下部95°の産物で連続、主軸断面と同方向の産物の割れ目の割れ目幅が4~5%前後の硬2.0の岩片、10~20%含む珪岩質の珪岩塊状を呈す。割れ目の幅0.5~1%前後の白色珪岩塊が分布する。全体は2.0の珪岩塊状を呈す。割れ目は10~15%厚さ30~40%mm

91.76 ~ 94.00 m : CL

- 割れ目の産物で、下部割れ目と産物、10~20%の産物で4~10~30%の小岩片に含浸性、粗粒化可。
- 93.00m 以下は厚さ3~5cmの石英脈が、93.00m 以下は厚さ割れ目の割れ目と産物、厚さ2~3cmの岩片が分布、珪岩の大半は白濁化、割れ目には砂状化部が分布、20%前後の硬2.0の珪岩塊が産物に分布する。
- 92.09m の40%の緑泥石が30°割れ目と断面に分布、変位はなし。
- 92.10m、70°~92.24m、44°間には5~10%の岩片状に砂状の割れ目にマニオンが分布する。
- 92.65m、55°割れ目に幅2%のマニオン脈状に分布。
- 93.01 ~ 94.13m 珪岩「B」の割れ目状の産物は分布しない。
- 94.26 ~ 94.38m、4~10%の上層珪岩結晶が点在、一部は35~50割れ目と断面に分布する。

94.00 ~ 94.96 m : CH

全体的に緑泥化している。

調査名

孔番・深度

H27B-2 (95 ~ 100)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 95 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	05												概ね新鮮であるが、一部割れ目等に風化による褐色化が認められる。 埋込物として割れ目に充填する等がある。また割れ目充填物が認められる。
	96									27	25		95.46m 割れ目幅 10~15% の褐色化(硬さ)に軟化。上盤側に幅 7% 程度の砂化に伴う同脈は途中に尖滅した。
	05												95.90~96.00m 割れ目幅 10~20% 程度の軟化による褐化、硬さには軟化が認められ砂化部は分布しない。
	97		Gp	2.5gY 5/1 緑灰	b	III	B	β	2			CH	96.60~96.63m 割れ目幅 10% 程度の淡褐化、幅 1~2% 砂化部は認められる。
	05									27	15		97.36m 30° 割れ目に淡褐色の細粒状物を含む。下の 97.65m まで高層部の割れ目が多量分布。
	98	97.96								0	7		97.96~98.48m: CM 割れ目等の砂化も認められるが、砂化部中細粒状物も認められる。長石の白濁化も多量。
	05	98.48											98.48~99.31m: CL 割れ目等の砂化部も認められる。粘土質の分布(長石)も長石は概ね白濁化せず。 99.44m 以降は新鮮な硬質、以て深部風化は軽微(20%)
	99									0	9		99.16~99.44m 長さ 10cm 前後の柱状割れ目も中石が分布する。
	05	99.44											99.44~99.90m は割れ目等に風化・砂化は少ない。岩片自身の上下位は軟化・砂化が認められる。 特に 99.76m~99.90m 付近 40° 割れ目の砂化が認められ一部硬さの上へ低下。
	100	99.90 100.00		2.5gY 5/1 緑灰	c	V	BW	γ		11	11		

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (100 ~ 105)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 100 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分		
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質					
05	100.52			2.5GY 5/1 緑泥	✓ c	✓ V	✓ B	β	2				<p>100.52 ~ 101.32 m: 割目と風化の程度が比較的均一で、硬質で部分的に硬質「B」の残留。長石の風化が著し。</p> <p>100.84 ~ 100.87 m, 101.23 ~ 101.32 m 間には割目と風化の程度が均一で、中硬から硬質に「砂礫状」呈す。</p>	
101	101.32				✓ s	✓ V	✓ B	β	3	✓ 0	✓ 4			
05	101.32					✓ b	✓ IV	✓ B	β	2		✓ CM	<p>101.32 ~ 102.05 m: CM 厚く均一に、塊状物も分布する。 一部の割目と風化の程度が均一に分布している。</p>	
102	102.05		GP			✓ c	✓ V	✓ c			✓ 0	✓ 6		
05	102.41					✓ c	✓ V	✓ c	γ	2			<p>102.05 ~ 102.41 m: CL 102.170 m 付近に硬質「B」と軟化の境界がある。 102.370 m 付近に硬質「D」と軟化の境界がある。</p> <p>102.05 ~ 102.41 m, 約 10% 間隔で細く密度の低い中層割目が多い。</p>	
05	102.71					✓ b	✓ V	✓ B					<p>102.41 ~ 102.94 m: 硬質「B」割目と軟化の境界がある。割目には 1 ~ 3% 程度の細く均一に分布している。</p>	
103	102.94			2.5YR 5/2 灰緑	✓ c	✓ V	✓ B	β	3	✓ 0	✓ 4		<p>102.94 ~ 103.17 m, 20~30% 割目と風化の程度が均一で、軟化が著しい。</p>	
05	103.17				✓ c	✓ V	✓ B	β	2			✓ CL	<p>103.17 ~ 103.70 m, 割目と風化の程度が均一で、塊状物の分布は認められる。一部の割目と風化の程度が均一に分布している。</p>	
05	103.56					✓ c	✓ V	✓ B	β	2			<p>103.70 ~ 104.65 m, 風化の進み、割目と風化の程度が均一で、軟化が著しい。</p> <p>20~30% 割目と風化の程度が均一で、軟化が著しい。</p>	
104	104.21			2.5YR 7/2 明黄灰		✓ c	✓ V	✓ D	γ	3	✓ 0	✓ 6		
05	104.65					✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 0	✓ 5	✓ CM	<p>104.65 ~ 104.95 m: CM 104.14 ~ 104.19 m 間には硬質で塊状物も分布している。</p>
105	104.95			2.5YR 5/2 灰緑	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2	✓ 0	✓ 5	✓ CM		

調査名

孔番・深度

H27B-2 (105 ~ 110)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 105 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05													
106					b	IV	B	β	2	✓ 24	✓ 14	CM	
05													
107			Gp	25YR 6/2 灰濁	x	x	x	x	x	✓ 17	✓ 17		
05					b	V	B	β	2			C2	
108										✓ 14	✓ 14		
05					b	IV	B	β	2			CM	
109										✓ 0	✓ 6		
05													
110										✓ 0	✓ 5		

・104.14~104.19m 上下端均 40°割れ目に囲み
 帯状の砂岩に中 2~3% 粘土付着。
 下端面 白色粘土の層状付着。内部は全体に 0.5%
 以下と微細石英粒の点状付着。

・105.70~106.03m 割れ目の変遷。中 20~30% 粘土付
 着付着。各割れ目の中に粘土付着の付着量は 12~15% 未
 だ付着面である。

・106.21~106.01m 中層割れ目の多さで硬度は高
 く、この層では分離・粘土化している。最層の底には
 既に同じ割れ目代り。

・107.00~107.73m 割れ目の変遷し、中 10~20% 粘土化
 付着。各割れ目以下 2% 粘土付着している。12% 粘土化
 面である。

107.15~107.62m : C2
 割れ目の中 3~5% 粘土付着部がある。砂岩に粘
 土付着は付着する。12% 粘土化面である。
 面の割れ目には粘土付着。これは粘土付着による粘土
 付着である。

107.60~115.99m : CM
 粘土付着。割れ目の多さ。
 110.60m~114.06m 間には幅 10~30% 間隔程度の
 最層の底に「中層割れ目」も含まれる。
 12% 粘土化。割れ目線は均等に分布する。

・108.57~108.60m。40°割れ目に幅 1% 程度
 付着。上部には粘土付着。粘土付着は 3% 以下。微
 細石英粒は付着している。

調査名

孔番・深度

H27B-2 (110 ~ 115)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 110 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05													110.40 ~ 110.61 m 白色の「片層割れ目」を以て特徴とし、 1割れ目化 (2割)。
111									0	9			
05													111.37 m 75~80° 割れ目と一部は幅 1~2 cm の砂状化 した交互層 30° 割れ目状 認められる。
112			Gp	2.5R 1/2 灰褐	6	11	B	β	2	11	11	CM	
05													112.41 ~ 112.44 m 50° 前後の割れ目と一部は片層化、 片層化層化 (2割)
113									0	6			
05													113.63 ~ 113.81 m 白色の「片層割れ目」を以て特徴とし、 細かく分布。断面の他側の含有量。
114									0	9			
05	114.37			2.5R 4/1 緑灰									114.37 ~ 115.70 m 緑色系色調に特徴的。
115									0	9			114.65 m 80~85° 割れ目の一部は全長に亘り厚さ 2~3 cm 以下の暗緑色粘土質の層化を認める。

調査名

孔番・深度

H27B-2 (115 ~ 120)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 115 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
05	115.70			2.5GY 5/1 緑灰	✓ b	✓ IV	✓ B	β	2		✓ CM		<ul style="list-style-type: none"> 115.33 ~ 115.70 m. 暗緑色粘板(緑泥石)の片1~2% 斑状に1~4% 脈状に分布する。特に前者の分布が多い。 115.70m 以下深部 橙色の正長石の多量に晶出。全体の色調が橙色に変化。
116	115.99			2.5YR 7/4 灰褐色						✓ 0	✓ P		<ul style="list-style-type: none"> 115.99 ~ 116.49 m: CL 割目0.5~1cm 分布。f10~30% 全体に晶化(20%)。割目0.5以下は1~3% 程度に細片状化。 116.48 ~ 116.47 m 正長石の晶出が多く。全体の性質は均一。
05	116.18				✓ c	✓ V	✓ C	β	3		✓ CL		<ul style="list-style-type: none"> 116.49 ~ 116.47 m: CM 粘板物の割目0.5~1cm。一部は幅1~2% 程度に片状化。一部は粘板に20% 程度に片状化。 粘板部は割目0.5~1cm 程度に片状化。
05	116.49									✓ 0	✓ P		<ul style="list-style-type: none"> 117.21 ~ 117.20 割目幅2% 程度に暗緑色粘板(緑泥石)の断片的に分布する。f10 程度に約10% は弱く風化した粘板化の正長石が伴っている。
117	116.78		Gp	2.5YR 6/2 灰褐色						✓ 0	✓ P		
05	117.21				✓ b	✓ IV	✓ B	β	2		✓ CM		<ul style="list-style-type: none"> 118.12 ~ 118.10 m. 30~40% 割目と70~80% 割目と交互し。一部はf5~10% 程度に片状化(20%)。砂化は粘板に片状化。 118.03 ~ 118.02 m. 20~30% 割目と10~20% 割目と交互に分布。一部は粘板にf5~10% 程度に片状化(20%)。
118	117.47									✓ 0	✓ P		
05	118.12									✓ 0	✓ P		
119	118.47									✓ 0	✓ P		<ul style="list-style-type: none"> 118.47 ~ 118.40 割目に幅1% 暗緑色粘板(緑泥石)は正長石の多量に晶出。90% 以下の微細な黄鉄鉱が伴う。
05	118.75			2.5YR 6/2 明褐色	✓	✓	✓	γ	3		✓ CL		<ul style="list-style-type: none"> 119.47 ~ 120.00 m: CL 30~40% 割目と10~20% 割目と交互に1~3cm 間隔に分布。割目0.5以下は薄く砂化(20%)。 119.75 ~ 119.80 m 正長石の多量に晶出。f10 程度に約10% は弱く風化した粘板化の正長石が伴っている。
120	119.97									✓ 0	✓ P		
05	120.00			2.5YR 6/2 明褐色	✓	✓	✓	γ	3	✓ 0	✓ P		

調査名

孔番・深度

H278-2 (120 ~ 125)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 12.0 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
	120.53 120.55 120.63 120.65											<p>堅硬 30~50°割れ目0~1cm同方向に分布する。 白・筋状の中等割れ目0.5~1cm同方向に同化。ハ2~9色PTの分離 1cm。一部は既に同化している。 割れ目充填物は分布しない。</p> <p>● 120.63 ~ 120.65m: 破砕帯 (主軸断面120.65m)</p> <p>120.63 ~ 120.65m: Hb 上部12~22°湾曲して、下部32°近縁的に連続。f2~3%石英粒 中2~10%薄片状20%程度含む軟質可塑性粘状土。色調は黄-赤(2.5GY 6/1), 厚さ15~25% 120.65m: Hc-1 32°以下端部近縁的に連続。石英粒、薄片状石英粒含む 軟弱粘土(2.5GY 6/1)。色調は黄-赤(2.5GY 6/1), 厚さ1~3%</p>
	121.03											<p>120.65 ~ 121.03m: CM 堅硬、1~割れ目0.5~1cm 充填物は分布しない。 上部側は緑泥石斑土に緑泥色を呈し、古化している 白・筋状の中等割れ目は同方向に同化。ハ2~9色PTの分離 1cm。</p>
	122.23											<p>121.03 ~ 122.23m: CH 堅硬、割れ目少なく、柱状~長柱状(2.5GY 20C-12E)のP-3 層。f1~3%暗緑色の緑泥石斑土。色調は緑泥色帯 20。</p>
	122.42											<p>122.23 ~ 122.42m: CL 上部14°の同化の連続。筋状の割れ目の一部は褐色化 筋状の中等割れ目もハ2~9色PTの分離・細化している。</p>
	122.97											<p>122.42 ~ 122.97m: CM 堅硬、割れ目。一部はハ2~9色PTの分離している。中等割れ目は 割れ目厚く褐色化して、塊状物は分布しない。 f5~10%橙色の粗長石斑土。石英粒、白濁化の長石は ほとんど分布する。</p>
	123.41											<p>122.97 ~ 123.41m: CL 堅硬、日中変質の古化している。割れ目少なく、60~70° 割れ目同方向に1~5cm間隔に分布する。 割れ目充填物はほとんど分布しない。</p>
	125.38											<p>123.41 ~ 125.38m: CM 一部は岩層の低い割れ目や中等割れ目が分布し、ハ2-9 色PTの分離・細化が(分離・細化(5~10%程度)) は5~10%未変質の長石の白濁化は厚層に認め られる。 全体にf1~2%暗緑色の緑泥石斑土。f1~3%暗 色土帯20。</p>
	124.30											<p>124.30m付近で同方向に同化している。この同化は引張り に人為的変質に由来している。</p>

120
120
120
120

120
120
120

↑

調査名

孔番・深度

H27B-2 (125 ~ 130)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 125 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分	記事・破砕性状・詳細スケッチ等
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化					
126	125.38		Gp		✓	✓	✓	β	2		CM	125.00~125.30m: 全断面の割れ目が多い。同日2回100%の割れ目割合を認む。	
	125.70	0.5		2.5YR 5/2 灰褐色	✓	✓	✓	β	2		CL	125.38~125.70m: CL 割れ目が多い。割れ目の中割れ目あり。0%程度の割れ目分布。100%の割れ目割合。細片化あり。割れ目間には粘土質の充填。125.30m, 50%割れ目割合はφ3-5%の浸透細片化部。細片化部は粘土質。	
	126.25				✓	✓	✓	β	2		CM	125.70~126.25: CM 一部で割れ目が多い。割れ目の中割れ目あり。割れ目には粘土質の充填。	
	126.97	0.5		2.5YR 6/4 灰褐色	✓	✓	✓	γ	3		CL	126.25~127.41m: CL 一部で50~60°割れ目あり。φ5%前後の細片化。細片化部は厚さ2~3%の粘土質。白色の浸透粘土質は2%程度。浸透粘土質は浸透粘土質(2.5YR 6/4)で浸透。細片化部は浸透粘土質(2.5YR 6/4)の色調で、全体は浸透粘土質。	
	127.41	0.5		10YR 7/4 灰褐色	✓	✓	✓	ε	3		DV	127.41~127.48m: Hc-1 50°以下端部は連続的に連続。石英粒、粘土質を含む浸透粘土質(φ2%)。色調は灰白(10YR 8/1)。厚さ0.5~1%。	
128	127.48	0.5		✓	✓	✓	γ	2		CL	127.41~127.48m: HJ 上端50°連続的。下端は50~60°湾曲して連続。φ2~5%の細片化。粘土質の割れ目。割れ目間には幅1~2%の浸透粘土質の充填。粘土質は浸透粘土質(2.5YR 6/4)で浸透。127.48mに主断面の割れ目あり。色調は浸透粘土質(10YR 7/4)。厚さ40~45%。		
	127.82	0.5		✓	✓	✓	ε	3		DV	127.48~127.82m: CL 40~60°割れ目主体で一部で厚さ1%程度の浸透粘土質が認められる。粘土質は浸透粘土質。		
	128.82	0.5		✓	✓	✓	ε	3		DV	127.82~127.83m: 上端60°、下端41°割れ目同様に、φ2~3%の浸透粘土質を含む連続的に連続。中粒~粗粒の浸透粘土質。粘土質は浸透粘土質。		
	128.87	0.5	2.5YR 6/4 灰褐色	✓	✓	✓	ε	3		DV	128.82~128.87m: HJ 上端30°、下端63°の連続的に連続。主断面に平行に斜交の割れ目あり。60~70°の浸透粘土質の充填。φ3~10%の浸透粘土質。割れ目間には浸透粘土質の充填。粘土質は浸透粘土質(2.5YR 6/4)。厚さ50~90%。		
	128.97	0.5	2.5YR 7/1 明褐色	✓	✓	✓	ε	3		DV	128.87~128.97m: Hc-2 63°上下端部は連続的に連続。φ1~3%の石英粒と粘土質を20%程度含む浸透粘土質(φ2%)。色調は浸透粘土質(5YR 7/1)。厚さ3~5%。		
129	128.97	0.5		✓	✓	✓	ε	3		DV	128.88~128.97m: HJ 上端63°、下端62°の連続的に連続。下端は幅2%の浸透粘土質の充填。60~70°の浸透粘土質の充填。φ5~15%の浸透粘土質。割れ目には浸透粘土質の充填。粘土質は浸透粘土質(2.5YR 6/4)。厚さ60%。		
	129.05	0.5		✓	✓	✓	ε	3		DV	128.97~129.05m: CL 129.05~129.09m: CM		
	129.09	0.5		✓	✓	✓	ε	3		DV	129.05~129.09m: CM		

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (30 m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長 RCD	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化			
131	05		Gp	2.5YR 7/1 明褐灰	✓ b	✓ IV	✓ B	✓ Y	2		CM
	131.79									✓ 0	✓ 5
132	05		Gp	10YR 7/2 150μm 黄緑	✓ c	✓ v	✓ c	✓ δ	2		Cc
	131.79									✓ 0	✓ 3
133	05		Gp	2.5YR 7/1 明褐灰	✗ c	✗ v	✗ c	✗ δ	3		D
	132.89									✓ 0	✓ 3
134	05		Gp	10.5Y 6/1 緑灰	✗ c	✗ v	✗ δ	✗ γ	2		Cc
	133.24									✓ 0	✓ 3
135	05		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓ c	✓ v	✓ c	✓ Y	3		Cc
	134.77									✓ 0	✓ 5

下端部の一部に割れ目の幅1-3%の砂化部あり。上部は砂化部は分布しない。

130.79m: 60°と北東方向に40-50°の割れ目の幅1-3%の砂化部あり。粘土は伴わない。北東割れ目の上部は割れ目の幅1%以下。

130.79 ~ 131.95 m: Cc
割れ目の北東方向に砂化部は多い。下部は砂化部は分布しない。北東割れ目の幅1%以下に砂化部は伴わない。

131.79m: 50°の割れ目の厚10-15%の砂化部あり。北東割れ目の幅1%以下に砂化部は伴わない。

131.95 ~ 132.89 m: D
風化の程度は砂化部は約40-50%の粘土を含む。砂化部は分布しない。砂化部中心に北東方向に約1-2%の粘土と砂化部は分布しない。

132.89 ~ 133.24 m: Cc
一部は割れ目の厚1-2%の程度に砂化部は分布しない。133.15 ~ 133.24mの一部は砂化部の粘土(2%)。

133.24 ~ 133.49 m: D
砂化部は約40%の粘土。粘土は約40%の粘土。砂化部は分布しない。

133.49 ~ 133.76 m: Cc
20-30°と60-70°の割れ目の変質(割れ目の幅1%以下)。

133.75 ~ 133.92 m: 破砕帯(主として133.75m) → 破砕帯
133.95m: Hc-1
45°と下部は砂化部の連続。石英質の粘土を含む。砂化部の粘土(約2%)。色調は明緑灰(10.5Y 6/1)。厚さ0.5-1cm。

133.75 ~ 133.80 m: Hb
上部は砂化部の連続。下部は砂化部の連続。粘土は約40%の粘土。砂化部は約20-30%の粘土を含む。砂化部の粘土(約2%)。色調は明緑灰(10.5Y 6/1)。厚さ30-70cm。

133.80 ~ 133.92 m: Hj
上部は砂化部の連続。下部は砂化部の連続。粘土は約40%の粘土。砂化部は約20-30%の粘土を含む。砂化部の粘土(約2%)。色調は明緑灰(10.5Y 6/1)。厚さ100cm。

133.92 ~ 134.15 m: 砂化部は分布しない。

134.15 ~ 134.23 m: 破砕帯(主として134.15m)
Vc-1

D: フロット (粗粒部名)

132
5
135

調査名

孔番・深度 H27 B-2 (135 ~ 140) 観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 135 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分				ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				
0.5	135.34		GP	緑	✓	✓	✓	δ	3		D	
136			GP	緑	✓	✓	✓	B	2	✓	0	
0.5	136.50		GP	緑	✓	✓	✓	E	δ	3		
137			GP	緑	✓	✓	✓	C	Y	2	✓	
0.5	137.44		GP	緑	✓	✓	✓	E	δ	3		
	137.60		GP	緑	✓	✓	✓	C	Y	2	✓	
	137.68		GP	緑	✓	✓	✓	E	δ	3		
138			GP	緑	✓	✓	✓	C	Y	2	✓	
0.5			GP	緑	✓	✓	✓	E	δ	3		
139			GP	緑	✓	✓	✓	C	Y	2	✓	
0.5	139.87		GP	緑	✓	✓	✓	E	δ	3		
140			GP	緑	✓	✓	✓	C	Y	2	✓	

134.15~134.19 m: Hc-1
75°で下端の直線的に連続。石英結晶片は殆ど全くな
軟質粘土(δ)。下層にはφ2.5%程度の黄緑色の点在。
色調は上部側・判別→灰(2.5GY 5/1)。中央・判別→灰(2.5GY 5/1)。
下層・判別→灰(2.5GY 4/1)で3色の病状模様と呈す。
厚2.20mm 19

134.21~134.23 m: Hd
上部75°で直線的に。下層は判別→不明(50°で可能
判別)。φ5~20%前後に分布。判別→不明の圧縮色粘土
を伴った「粘土流石片状」を呈す。色調は判別→灰(2.5GY 5/1)。厚3.0mm以上。

134.23~134.27 m: Cc
粗粒岩質(判別→不明)下層側へ侵入。境界直下部でφ5。
判別→不明。色調は判別→不明。
134.23~134.33 m: Dc & Gp 流石片状を呈す。色調は判別→灰(2.5GY 5/1)。
134.27~134.34 m: D
土質性。φ10%前後に分布。

135.34~135.65 m: Cc
硬質「C」に主体として判別→不明
・硬質「B」は上部の135.34~136.50に小分布
一部は老層の途中層(判別→不明)と合する。
・硬質「E」は判別→不明の風化を伴ったφ5~10%の
粘石を伴った。136.50~136.64、137.44
~137.60、139.07~139.09に分布。1.5cm前後
の分布。
・136.40以下でφ2.5%の暗緑色。緑石斑点を伴った。
・136.54、35°幅10~15°で判別→不明(判別→不明)と呈す。
φ5%前後に分布。両境界部も粘土を伴った。
・137.44~137.53はφ5~10%前後に分布。判別→不明。137.53
~137.60は判別→不明の分布を伴った。
・137.68は色調が変化。
137.68以下は判別→不明の帯。判別→不明の粘石を伴った。
137.68以下は判別→不明の帯。判別→不明の粘石を伴った。
判別→不明の粘石を伴った。
・138.00~138.30。判別→不明の一部は判別→不明。厚1~2mmの
判別→不明の分布を伴った。
・138.95。判別→不明。厚2.1mm。判別→不明。判別→不明。
138.97。判別→不明。厚2.0mm。判別→不明。

139.67 m: 350判別→不明の一部は判別→不明の分布を伴った。
・139.87~139.94 m: 30°と判別→不明の判別→不明。φ3~10%
前後に分布。粗粒判別→不明。判別→不明。判別→不明。

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 140 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調	細区分					最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの種類	風化	変質			
	140.04				△	▽	△	○	3			
	05											
	141									10	5	
	05				▽	▽	▽	▽	2			
	142		GP	2.5R 灰						0	5	
	05											C2
	142.81				X	X	X	X				4
	05											
	143											
	05											
	144									10	7	
	05											
	144.90				X	▽	▽	▽	2			6
	145				X	▽	▽	▽	2			6

140.04 ~ 142.85 (16) 厚210cm 以上の砂岩層に
部は分層(2.5R) 割れ目の厚1~5% 程度に
4~3% 砂質の片状の割れ目が多量を含む。
割れ目は垂直の低角の割れ目、0°割れ目(2.5R)
が多い。粘土質の割れ目もある。

141.10 ~ 141.18 40°割れ目の砂岩に、4~10% 硬質
割れ目(2.5R) が多い特徴(2.5R)。

141.96 ~ 142.23 互角に厚さ60°と30°の
割れ目の割れ目(4.5R) 5~10% 程度の片状(2.5R)
割れ目の硬質と硬質の一部厚さ1~2% 程度の砂岩に
粘土質の割れ目がある。

142.81 ~ 144.90 割れ目の間隔の上下位は比一増加
割れ目。垂直の低角の割れ目中、中角割れ目が多量を含む。

143.57 ~ 144.70 上端60°、下端70°割れ目の
砂岩に硬質、粘質の割れ目がある。
粘土質の割れ目と砂岩の割れ目、4~5% 程度の割れ目
黄鉄鉱、60°厚さ5~10% 石英の割れ目がある。



基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 145 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分					最大コア長 ROD	岩級区分	破砕度区分		
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化				変質	
	05	145.65		7.5YR 8/1 褐灰	✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	2		✓ 0	3	CV
146	05				x	x					✓ 0	3	
147	05		Gp	7.5YR 7/2 明褐灰	✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	3		✓ 0	2	D
	05	147.01			x	x					✓ 0	4	
148	05	148.01			✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	3		✓ 0	4	
	05	148.26			✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	3		✓ 0	3	
	05				✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	2		✓ 0	6	C2
149	05	149.19			x	x					✓ 0	6	
	05	149.67			✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	2		✓ 0	5	D
150	05	150.00		7.5YR 8/1 褐灰	✓ c	✓ v	✓ c	✓ γ	3		✓ 0	5	CC

145.65 ~ 148.26 m: D
 大半が割れ目なし風化の塊石。粘り砂状。5~20%の残留粘片を含む。砂状~薄層砂状を呈す。一部少量の暗緑灰色粘土脈に分布。

145.74 ~ 146.00 m, 146.01 ~ 147.00 m は硬質「D」粘片。147.01 ~ 148.01 m は硬質「C」粘片。中部に分布。

146.65 ~ 146.91 m, 深度2mに残留粘片量が増加。146.91 ~ 147.50 m 硬質「D」粘片主体。粘り砂状。粘り砂状粘片を含む。

147.65 m, 55°割れ目に厚さ2~3mm暗緑灰色緑泥石脈12粒。粘り砂状~砂状化(可)。

147.01 ~ 148.01 m 硬質「C」と硬質「D」粘片。割れ目は粘り砂状に分布(可)。

148.26 ~ 149.19 m: C2
 上部55°下部50°の両者130°方向に割れ目(可)。

148.68 m, 55°厚さ3mm暗緑灰色粘り砂状の粘泥石脈12粒。同脈は粘り砂(90%)の粘り砂に少量伴う。

148.04 m 以下、割れ目に厚さ2mmの粘り砂状粘片を含む。

149.19 ~ 149.67 m: D
 割れ目なし風化の塊石。粘り砂状。粘り砂状粘片10%前後の硬質「D」を呈す。砂状~薄層砂状を呈す。粘り砂状を呈す。下部の149.67 m 40厚さ1%暗緑灰色粘り砂状粘泥石脈12粒。

149.67 ~ 150.00 m: CC
 硬質「C」と「D」の粘片を含む。149.67 ~ 150.22 m は硬質「C」粘片。一部は砂状粘り砂を呈す。

20 ~ 146 m - P 2. (C7 = 20.0)

調査名

孔番・深度

H27 B-2 (150 ~ 155)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 150 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分	
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
151	150.00		Gp	2.5YR 6/1 褐灰	✓	✓	✓			2		<p>150.22 ~ 150.52 m: 上下の境界に「破砕」に類似する。下部の150.52 ~ 150.54 m 幅1~2%の砂り状の緑泥石炭。細粒の黄鉄鉱を伴う。</p> <p>150.52 ~ 152.10 m: 硬さで、一部で割れ目面に沿って約10%程度の同化は弱く、割れ目境界に「鉄」が分布する。</p> <p>150.52 m 以降は、岩体中の1~3%の暗緑石を主成分とする。割れ目の面は「鉄」の緑泥石炭と一緒に「鉄」の結晶化の著化は弱い。</p> <p>151.40 ~ 151.60 m: 割れ目の「鉄」が約10%程度の割合で分布している。割れ目の面は「鉄」の結晶化の著化は弱い。</p>	
	150.22			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			3			
	150.52			2.5YR 6/1 褐灰	✓	✓	✓			2			
	152.10	152.11			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4		
	152.15				2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4		
	152.51				2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			2		
	152.10 ~ 152.15 m				2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4		
	152.10 ~ 152.11 m				2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			2		
	152.11 m				2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			2		
	152.11 ~ 152.15 m				2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			2		
152	152.10		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4		<p>152.10 ~ 152.15 m: 石炭評帯 (主として断面152.11 m)</p> <p>152.10 ~ 152.11 m: HJ 上端60°、下端18°の砂り状の連続。主として断面と垂直に割れ目が多く、1~10%程度の「鉄」の著化。 色調は「鉄」の暗緑(5YR 7/2) 厚2.15 m</p> <p>152.11 m: Hc-2 60°で上端と連続的に連続。1~2%の暗緑石を約20%程度含む軟質粘土(5YR 7/2)。厚1 m/m 暗緑石。</p> <p>152.11 ~ 152.15 m: HJ 上端60°で連続的に、下端55°で波打って連続。1~5%程度の著化(一部10%)。著化は「鉄」の結晶化と「鉄」の「鉄」の著化とに類似している。色調は緑灰(10YR 5/1) ~ 明褐灰(2.5YR 7/2)。厚20 ~ 50 m/m</p> <p>152.15 ~ 153.59 m: C_L 同化の著化「鉄」の「鉄」。割れ目が多く、152.51 m 以降は「鉄」の著化と「鉄」の著化とに類似している。割れ目の割合は10~20%程度の著化が主である。 割れ目の一部は約1%程度の著化と「鉄」の著化とに類似している。153.30 ~ 153.57 m 緑泥石炭を伴う。一部の割れ目と「鉄」の著化とに類似している。</p> <p>153.59 ~ 154.53 m: D 同化の著化「鉄」の著化が最大。著化と「鉄」の著化とに類似している。154.00 m 以降は「鉄」の著化と「鉄」の著化とに類似している。154.00 m 以降は「鉄」の著化と「鉄」の著化とに類似している。</p> <p>154.00 m 以降は「鉄」の著化と「鉄」の著化とに類似している。</p> <p>154.60 ~ 153.76 m は緑泥石炭の著化と「鉄」の著化とに類似している。著化の著化と「鉄」の著化とに類似している。</p>	
	152.11			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4			
	152.15				2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4		
	152.51				2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			2		
	152.10 ~ 152.15 m				2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4		
153	153.59		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			2		<p>152.15 ~ 153.59 m: C_L 同化の著化「鉄」の「鉄」。割れ目が多く、152.51 m 以降は「鉄」の著化と「鉄」の著化とに類似している。割れ目の割合は10~20%程度の著化が主である。 割れ目の一部は約1%程度の著化と「鉄」の著化とに類似している。153.30 ~ 153.57 m 緑泥石炭を伴う。一部の割れ目と「鉄」の著化とに類似している。</p> <p>153.59 ~ 154.53 m: D 同化の著化「鉄」の著化が最大。著化と「鉄」の著化とに類似している。154.00 m 以降は「鉄」の著化と「鉄」の著化とに類似している。154.00 m 以降は「鉄」の著化と「鉄」の著化とに類似している。</p> <p>154.00 m 以降は「鉄」の著化と「鉄」の著化とに類似している。</p> <p>154.60 ~ 153.76 m は緑泥石炭の著化と「鉄」の著化とに類似している。著化の著化と「鉄」の著化とに類似している。</p>	
	153.60			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			2			
	153.76			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			2			
	154.53				2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4		
	154.58				2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4		
154	154.53		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4		<p>154.53 ~ 154.71 m: 石炭評帯 (主として断面154.58 m)</p> <p>154.53 ~ 154.58 m: Hb 上端60°、下端35°の砂り状の連続。1~3%の暗緑石、1~10%の結晶化と「鉄」の著化とに類似している。20~30%の軟質粘土(5YR 7/2)を伴う。中央の軟質粘土は軟弱。色調は上端の暗緑(5YR 7/2)中央、明褐(5YR 7/2)。下部、暗褐(5YR 7/2)、暗灰、厚20 ~ 50 m/m</p>	
	154.58			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4			
	154.71			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4			
	154.71			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4			
155	155.00		Gp	2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4		<p>154.53 ~ 154.71 m: 石炭評帯 (主として断面154.58 m)</p> <p>154.53 ~ 154.58 m: Hb 上端60°、下端35°の砂り状の連続。1~3%の暗緑石、1~10%の結晶化と「鉄」の著化とに類似している。20~30%の軟質粘土(5YR 7/2)を伴う。中央の軟質粘土は軟弱。色調は上端の暗緑(5YR 7/2)中央、明褐(5YR 7/2)。下部、暗褐(5YR 7/2)、暗灰、厚20 ~ 50 m/m</p>	
	155.00			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4			
	155.00			2.5YR 7/2 明褐灰	✓	✓	✓			4			

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	細区分						最大コア長	岩級区分	破砕度区分
				色調	割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質			
155	155.00											
0.5				2.5YR 7/2 明褐灰								
156	156.00				✓	✓	✓	✓	3	✓	✓	
0.5												
157			Gp	7.5YR 6/2 灰褐色						0	2	CL
0.5												
158										✓	✓	
0.5				10.5Y 5/1 緑灰	✓	✓	✓	✓	3			
159										✓	✓	
0.5					✓	✓	✓	✓	3			
160	160.00				✓	✓	✓	✓	3	✓	✓	

154.58 m: 15c-1
 36° 上端は15c-1より、下端は直線的に連続。φ1~2%の石英粒と石膏(5%以内)を含む軟質粘土(6%以下)。色調は上下端別6%褐灰(7.5YR 6/2)、中央は灰赤(2.5YR 6/2)の褐灰に相当。厚さ5%。

154.58~154.71 m: 15d
 上端は36°直線的、下端は64~70°で湾曲(急角)に連続。50~70°の石英粒が割れ目が多く、φ3~5%の細小片状化。薄片間には幅1~3%の明緑灰~緑灰色の軟質粘土が分布。また、中央には幅1%の軟質粘土の粘土が分布。全体は2%粘土混じり片状化と相当。色調は15c-1に相当(7.5YR 6/2)~明緑灰(10.5Y 5/1)、厚さ5%。

154.71~155.00 m: 15e
 粒化部(15c-1)の割れ目連続部
 155.00 ~ 162.00 m (20m): CL
 割れ目には暗緑灰色の緑泥石が分布。
 特に、157.89 ~ 160.00 mには緑泥石の層(色調同)が緑灰色と混じり、厚さ2~20%の軟質粘土の部分が認められる。

156.25 ~ 157.80 厚さ1~8%のφ2~3%の石英粒と薄片に緑泥石の軟質粘土が分布。

156.72 ~ 157.80 厚さ1~10%の固結部があり、φ1~2%のGp偏平部が分布(上下方向に連続)。下端は158.24 mで、下端面は鏡面と緑泥石粘土が分布。

158.00 ~ 158.20 m φ5~10%の固結部と石英の分布が認められる。

159.06 ~ 159.33 m 割れ目には暗緑灰色の軟質粘土と薄片の緑泥石が厚さ2~20%分布。
 薄片部には暗緑灰色の軟質粘土が分布。色調は160.00 mに相当。

159.78 m 10~80 厚さ1~10%の石英の割れ目(色調)に連続部。

調査名

孔番・深度

K27B-2 (160 ~ 162)

観察日

基盤岩コア観察カード

記事・破砕性状・詳細スケッチ等

標尺 (60 m)	深度 (m)	境界・亀裂位置	地質名	色調 16a00	細区分					ROD	最大コア長	岩級区分	破砕度区分
					割れ目状態	コアの形状	コアの硬さ	風化	変質				
	160.12							γ					<p>160.00 ~ 161.68m 緑泥石化は部分的、一部の割れ目の縁に緑泥石化の程度は割れ目の形状に依る。</p> <p>160.81m、70°厚2.5mm 白色結晶性(方解石)の分布、その上部と下部の厚2~3mm 固結した緑泥石化を伴う。</p> <p>160.78 ~ 161.01m は φ 5~30µm 中に29ヶ所採取したものは各層の大部分は割れ目の縁にのみ付着している。</p> <p>161.68m 以下は割れ目に暗緑色の緑泥石化、割れ目の縁に緑泥石化の粘土の付着が認められる。全体のφ10~50% と細く碎けたもの、若干の硬質のものと認められる。</p> <p>(2枚)</p>
0.5	160.50			2.5YR 5/4				δ	3				
	160.75		GP ✓	11.5YR 7/4				γ	3				
161									0	3	CL		
0.5	161.68			10.5Y 5/1 緑灰				β	3				
162									0	4			

余白

第四系コア観察カード

調査名		孔番		観察日			
		H27 B-3					
標尺 (m)	深度 (m)	イベント・地層境界	スケッチ	マーカ-	地質名	色調	堆積構造・特徴等
				火山灰物 炭質土 化石 木片			
0				○ r // ○			
	0.35		0~0.35 砂石 (f.30)			10YR 3/1 黒褐	0~1.70m: 埋産土 掘削掘削に立ち、地下埋設物確認のため 手掘りの試験を行う。その埋産土。
0.5					埋産土	10YR 6/4 灰黄褐 10YR 7/2 灰黄褐	0~0.35m 砂石 0.35~1.70m 津波砂~礫質砂
1	1.00						
0.5							
1.70							
2							1.70~10.05m: 礫土 構造物基礎の礫土部 5~10mm 礫、粗砂、粗砂、粗砂、粗砂、粗砂、粗砂 1.70~5.27m: 砂
0.5					礫土	10YR 6/4 灰黄褐	2.4~2.8m 間の水平掘削時に掘削面の粗粒砂の 収縮が確認。
3							
0.5			3.61~3.67 m. 礫の破 砕				3.50m 以下は粗粒砂が主である。 3.61~3.67m 20cm 表面の黒色化は石英粒が 滞集している。
4							

b/c 層

スケッチ: 礫はクサリ ● 半クサリ ◐ 硬質 ○ 礫種は黒雲母花崗岩 Gr, 花崗斑岩 Gp, アプライト Ap 等
境界 明瞭 — 不明瞭 --- 亀裂は赤線, 角度, 条線等